山遊会だより

31

発行所:山遊会
東京都千代田区四番町4-5サンビューハイツ
公益社団法人 日本山岳会内
tel.03-3261-4433　fax.03-3261-4441

定例会予定

2021年	5月27日（木）	6月24日（木）
	7月22日（木）	8月26日（木）
	9月30日（木）	10月28日（木）
	11月25日（木）	12月16日（木）
2022年	1月27日（木）	2月24日（木）
	3月24日（木）	4月28日（木）

⇒ 18：45 ルーム104号室（Zoom会議の場合は20：00）
（原則毎月第4週木曜日に開催）

☆山遊会ホームページ
http://www.jac.or.jp/info/doukoukai/sanyukaihp/index.html

＊巻頭言＊

わたしの山始め

山遊会　中臺 文夫

渡辺代表から「山遊会だより」の巻頭文を書くようにと仰せつかった。14年4月1日に山岳会と山遊会に同時入会した駆け出し会員で、山の知識も技術も経験もない自分に何が書けるだろうと自問自答。過去の「山遊会だより」を拝見して、ますます頭を悩ましたが、自分に書けることは短期間の経験談と今後の思いであると心を決めた。

そもそも私は、動・植物や魚類等々の図鑑を眺めたり文庫本を愛読するインドア派で、自分の会社しか知らない視野の狭い仕事人間だった。88年に仕事の関係で現副代表の辻橋さんにお会いしたことがきっかけで、徐々にアウトドア派にシフトし視野が広がりはじめた。辻橋さんから山の話を伺っていると、自然科学系の好奇心がムクムク。アドバイスを受けながら簡単な用具から揃え、丹沢や中央線沿線の低山に誘っていただき山登りに入門した。

が、しばらくして生意気にも辻橋師匠にもう少しイメージとして山っぽいところ？に行きたいとおねだりし、00年頃には長野方面の個人山行が中心となり、この頃から笑い話や失敗談が増えてくる。

黒斑山では霧の中で電車が鉄橋を渡るような音がしばしば聞こえ、「電車の音がすぐ下に聞こえる」といったところ大笑いされ、風の音だとご教授いただく。細かい雨様になっても平地のつもりでレインウェアを着用せず、いざ着替えようとしたら寒さで指が動かず、師匠に着替えの面倒を見ていただいた。勿論その後お説教という形で、ご指導をありがたくいただいた。

瑞牆山では前泊し、同室になった方たちと意気投合し飲みすぎ、翌日は二日酔い。どうにか頂上を目指していると、一緒に飲んだ方たちがもう下山してきた。あれほど恥ずかしさと二日酔いで帰りたいと思ったことはなかった。

燕岳では夜行列車を初体験。連休で小屋が人・人・人であふれ、床にも人・人・人。寝るのもトイレに行くのも一苦労。でもコマクサを見て、運よくライチョウの親子連れを間近で見ることができ大満足。

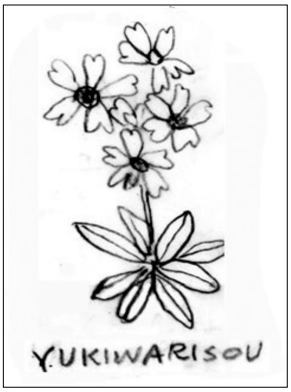
他の山行でも、途中休憩でザックを登山道の山側ではなく谷側へ置いてしまい、ザックが斜面を飛び跳ねるように滑落したり、ステンレスボトルの蓋がいつの間にか開いていて、ザックがビショビショ、花や昆虫、景色に気を取られ、地上に出ている木の根につまずいて転んでしまう等々、失敗談は登った山の数以上にある。

その後、転勤や大病への罹患。入院・通院治療など、忙しい生活を送ったが、病後は大きく落ちた体力に合わせゆったりした山行が主となり、また、治療の過程で唾液が出なくなっており口がカラカラとなるので、多くの水を携帯し、常に水分補給。重量はかなりの負担となった。

東京へ戻った後、14年4月に正式に山岳会・山遊会の会員となる。入会当初は、体調と相談しながら集会も山行もあまり参加できず、16年ころから徐々に参加を増やした。いざ山行に参加すると、皆さんの歩行に驚いた。平坦・急登もペースが変わらない、ゆっくり歩いているようでペースは早い。水分補給や植物・昆虫等の撮影をしていると、あっという間に置いていかれ小走りになり、イーブンペースには程遠い状況だった。

入会7年目、経験・技術・知識のなさを痛感しながらも、自分にとっての山行は、標高の高さよりも花や鳥・昆虫など自然を愛でながら、景色を楽しむことだと思っている。

初心者にご指導をいただいた辻橋さん、素人新入会員をご指導いただいた山遊会先輩諸氏に感謝しつつ、皆さんにご迷惑をかけないよう、今後も山行を楽しみたい。加えてどんな低山でも事故が起きる可能性は排除できないので、自分の経験した様々な事象を、これからの新入会員に丁寧に伝えていきたいと思う。

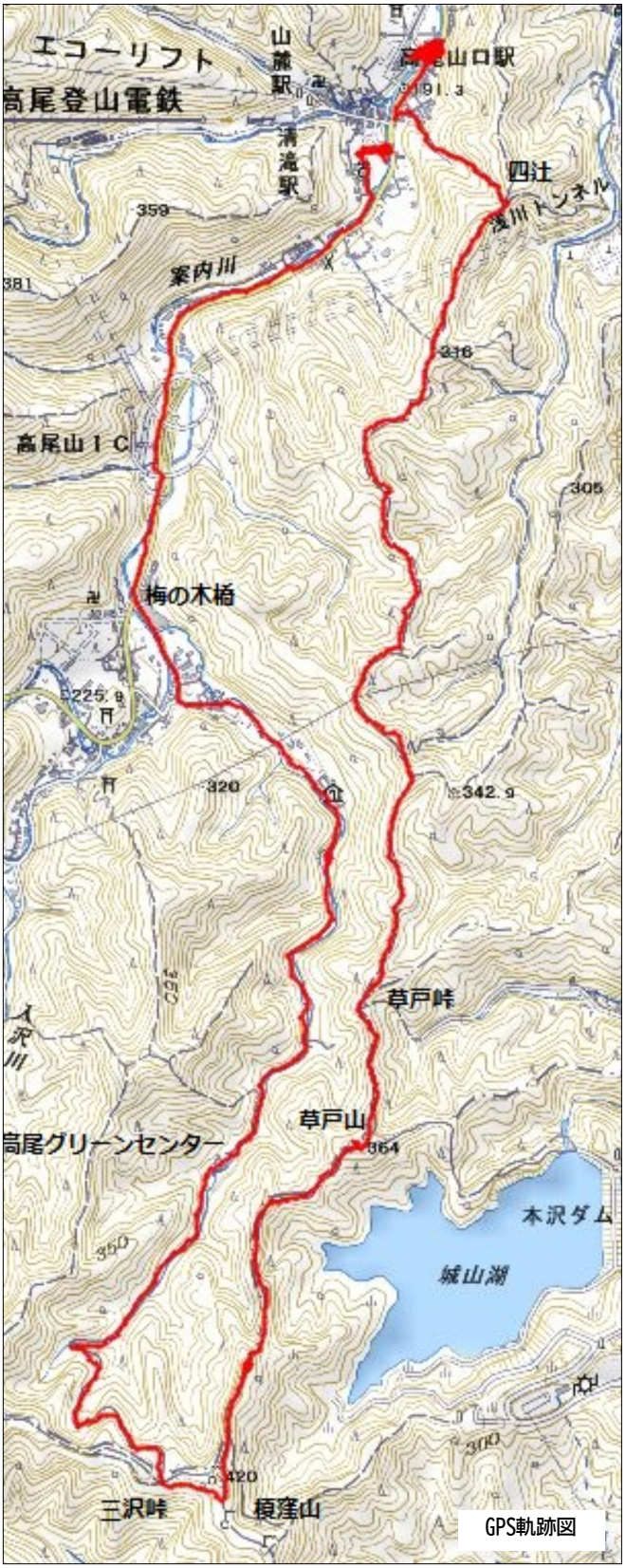


7月山行・草戸山

休止後久々のリハビリ山行

辻橋 明子

日程：2020年7月11日（土）
目的地：高尾　草戸山
コース：高尾山口9:05⇒四辻9:20～9:25⇒鉄塔10:00⇒草戸峠10:45～10:55⇒草戸山（松見平休憩所）11:10～11:20⇒ふれあい休憩所（昼食）11:40～12:50⇒城山湖分岐13:00⇒三沢峠（分岐）13:05⇒グリーンセンター13:27⇒福寿園13:52⇒梅の木平（国道20号線）14:04⇒高尾599ミュージアム14:24
参加者：渡辺、大西、古閑、江村、加藤、辻橋、中臺（7名）
係り：辻橋
記録：文/辻橋　GPS/渡辺　写真/辻橋、加藤、中臺　花合わせ/江村



GPS軌跡図

高尾山口駅改札前に集合

3月の定例山行以来、4ヶ月振りとなる足慣らし山行として、低山ながらアップダウンの多い歩きがいのある「草戸山」を選んだ。

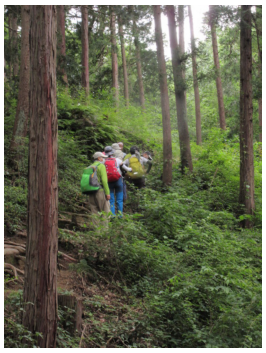
梅雨明け前のため、当日の天気が気掛かりだったが、まあまあの予報で一安心。

高尾山口改札前に、4ヶ月振りの笑顔の仲間7人の顔がそろった。久々に加藤さんも参加される。

駅から5分ほどの民家の脇にある登山道から出発、久しぶりの程々の登り坂に、息が上がる。15分ほどで四つじ着。早めの水分補給。こんもりした樹林の中、細かいアップダウンを繰り返しながら進む。曇り空の中、風も無く暑い。鉄塔をすぎひと登り　右に大きくカーブする辺りから左手は拓殖大学の校地か演習林か？鉄条網が張り巡らせてあり、延々草戸峠まで続いていた。樹木の幹にあたるところは保護カバーがかけられていた。野鳥の鳴き声の多い中、時折「ヒュー」と音が響き、渡辺さん、江村さんが「鹿の声だね～」と。草戸峠からは正面に高尾山の全貌が見渡せる。オカトラノオが沢山咲いていた。

ちょっとうす暗い登山道を出発

大きなヤマユリのお出迎え


アップ　蒸し暑い！

オオバギボウシの花

大休止の後ひと登りで草戸山着。

「松見平休憩所」とあり立派な展望台が建っている。山頂のすみに「草戸山364m」の標識が影薄く立っていた。歩いて来た登山道には見事なキノコ類が沢山あり、皆、美味しそうに見える。この辺りからは、城山湖からの風の通り道があるのか時折涼やかな風を感じる。草戸山からは長い階段を三本ほど登ると、本日の最高峰「ふれあい休憩所」のあずま屋に着く。眼下に城山湖のブルーの湖面が見渡せる。

東屋に3人、外のテーブルに4人。わずかなソーシャルデスタンスを守って昼食とする。久しぶりの山行で「皆で鍋を囲んで」のお楽しみは今回、無しにした。お互いの持参飲食のやり取りも遠慮しながらの昼食となる。

ランチが終わりになる頃、雲行きが怪しくなり雨がふりはじめる。自称（晴れ女）としては、空を仰いで「やんでよ～」とお願い。10分ほどで小雨に。ザックカバーをかけ、歩き始めると雨は止んでいた。この後も、時々小雨模様になるが樹林の中の小雨は木々が止めてくれて、傘を差すことはいちどもなかった。下り一方の下山道は幅広の歩き良い道が続きグリーンセンターから梅の木平経由高尾599ミュージアムには、予定より30分ほど早く帰着出来た。

ミュージアムでひと休み中、渡辺、大西、辻橋の三役で臨時世話役会議を開催し、懸案の「山行費の徴収」について打ち合わせをする。当初の予定額は積み立てたので徴収は無しに？　係の手当て¥500は必要では？　話し会った結果、今回の山行から山行賛徴収金額は¥100とすることに。

温泉組、軽く一献組とに分かれ、ここで解散とする。隣りの高尾山と違い、山中、行きあった登山者の数も少なく静かな良い山行が出来た。

花合わせ（江村さんより）

ヤブコウジ、ヤマユリ、オオバギボウシ、ヘビイチゴ（実）、リュウノヒゲ（ジャノヒゲ）、オカトラノオ、ヒメトラノオ、ネムノハナ、ミツモトソウ、ハエドクソウ、ヤブカンゾウ

見にくいですがヤブコウジの花

こまめに水分補給

オオバギボウシの花茎と蕾

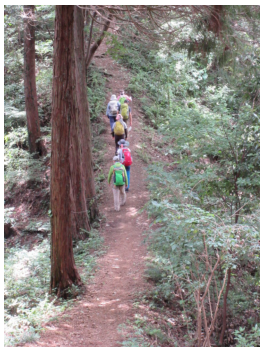
ダウン･･･ロープが張られていた

オカトラノオ

鉄条網の保護カバー

相変わらず身軽な大西さん

草戸山頂上のゴンズイ？


どこかの山行と同じ構図？

立派な松見平休憩所

影の薄い草戸山標識

ランチ前の上り急階段

城山湖

599ミュージアムで

キノコ　No. 1

キノコ　No. 2

人の顔が？（辻橋さん提供）

8月山行・乗鞍高原

山と高山植物、温泉と食、森林浴を満喫

古閑 栄子

6月、辻橋さんより8月山行係の声が掛り、当初、沢を予定し渡辺代表に「小菅沢に」と相談を持ち掛けたのですが、よくよく考えるとヨモヤ、沢を登れる体力が残ってないのを自覚。個人で乗鞍岳を予定していたので、辻橋さんに泊まり山行で乗鞍を提案。コロナ騒ぎの中で躊躇したが思い切って相談、「いいじゃない」とおっしゃられたので宿に連絡。「今なら空いてるし、ソーシャルディスタンス守って少人数なら大丈夫！」と言われたので、

新島々駅発乗鞍高原線バス

松本電鉄上高地線

日程：2020年8月8日（土）～10日（月）
目的地：乗鞍高原と3000Mの山を楽しむ
コース：8月8日（土）
　新宿10:00発⇒（あずさ13号）⇒松本駅12:36着　13:29発⇒（松本電鉄上高地線）⇒新島々着13:59 新島々バスターミナル14:10発⇒（乗鞍高原線バス）⇒鈴蘭バス停15:00着　宿：金山ヒュッテ泊
8月9日（日）
　宿8:40出発⇒乗鞍高原観光センター9:00発⇒（乗鞍行きバス）⇒畳平9:45着⇒ガイドとともに畳平周辺の高山植物を観察（11:00～12:08）【畳平観光センター内にて昼食】畳平13:05発⇒（観光センター行バス）⇒乗鞍高原観光センター14:45着　近くのお土産屋散策後宿へ
8月10日（月）
　宿9:00出発⇒（宿の車）⇒乗鞍高原休暇村牛留池⇒善五郎の滝⇒観光センター周遊散策 観光センター11：30着⇒宿（一部入浴）鈴蘭バス停12：13発⇒（バス）⇒新島々駅⇒（松本電鉄上高地線）⇒松本
参加者：江村、染谷、辻橋、松島、中臺、古閑（6名）
係り：古閑
記録：文/古閑　写真/辻橋・中臺

お待ちかねの夕食

宿へ到着

標高2, 716mバス停（車道日本最高所）

ガイドさんを先頭に出発する

予約を入れた。

さらに霧が！！

が、強風！！

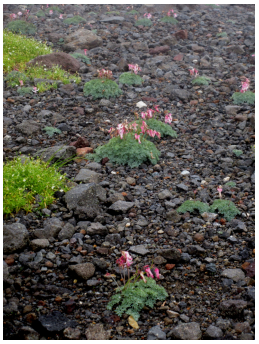
8月8日（土）

7月は、梅雨の長雨と寒暖の差が激しかった。8月に入り晴れ間が戻り、無事に山行を迎える事に。長雨の間はうす寒く、晴れた途端に猛暑。皆さん幸いに体調を崩されることなく久々の顔合わせ。あずさ、松本電鉄、アルピコバスに乗り替え、すべての乗り物はソーシャルディスタンスを守り、安心できる旅になった。

　鈴蘭バス停下車、宿に着き打合せ。バスはコロナ禍の為時間の変更があると聞いていたので、宿の御主人に確認し明日の出発予定・行動を決める。話が落ち着いたところで、湯の花が浴槽の底にたまるほどの乳白色温泉に浸り満足。美味しい夕食にも大満足。食後は男性の部屋に集まり美酒に舌鼓。その後、各自部屋に戻り就寝。

8月9日（日）

　予定通り、宿近くの観光センター9時出発のバスに乗る。思いのほか登山、夏スキーを楽しむ乗客も多かった。バスもソーシャルディスタンスを守り二人座席に一人。その為、乗鞍行きのバスは3台が連なって登って行く。バスは45分程で畳平に到着したが、濃霧。バスのガイドがバスに近寄らない様にとアナウンス。実は霧が濃くてバスの運転手からは歩行者の姿は見えないと言う事なのです。濃霧の為、休憩所でしばし留まるが登山は絶望。そこへ江村さんが情報を仕入れて来る。高山植物のガイドを無料で案内してくれるとのこと。早速11時からのガイドを予約する。11時、ガイドさんの声が掛り「寒いので40分で戻ります」と、我々も寒さ対策を万全にして出発。バスの駐車場を横断、霧も凄いが風も強くガイドさんの声も聞き取れない（ミヤマダイコンソウ・ウサギギク・ミヤマアキノキリンソウ・シナノオトギリソウ・ハクサンイチゲ・コメバツガザクラ・ハクサンボウフウ・イワウメ・ハクサンチドリ等々65種あるとか）。


コマクサ

クロユリ

岐阜との境を案内される時には耐風訓練してるのかと思われる程の風の強さ。しかし、その風のお陰で霧に切れ間が出来、一瞬ではあるが鶴ヶ池や不消ヶ池が姿を現し皆シャッターを切る。高山植物を案内してくださる声は聞き取れなかったが、様々な花を見ることが出来た。乗鞍岳の山頂を踏むことは断念。

高山植物その2

色とりどりの高山植物

綿毛になったチングルマ

しかし、普段味わう事の無い瞬間、有意義な時間を過ごせた事は良かったと感じる。館内に戻る。ダウンジャケットを羽織ってる人、薄着で来て「山を舐めてた」なんて言う人。この時期各所で配られているクーポン券、ご多分に漏れずこの地でも配られていた。そのクーポン券を利用し食券を購入、2階席でゆっくり昼食（クーポン券はバスの切符を買うときに配られた）。13:05発、観光センター行きのバスに乗り込み下山。降りると、あの風と霧は嘘のように、太陽はカンカン照り。観光センターで日陰を探しビール休憩。その後、近くのお土産センターに立ち寄りご当地の物産を巡る。気温20℃。

宿に戻り、温泉に入り、日頃味わえないゆったりとした至福の時間を過ごす。一日目の夕食で品数が多く美味しかったので、二日目の夕食も楽しみだったのですがやはり品数も多く、バラエティーに富んで美味しくいただきました。食後、男性部屋に集合、明日の相談。宿の御主人にも相談。乗鞍散策ガイドのパンフレットから「Eコース。善五郎の滝・牛留池コース」を勧めてくださったので決定。

8月10日（月）

朝も盛りだくさんの食事を頂く（朝はジュース、夜は食前酒がついている）。玄関前9時集合、忙しいところ宿の御主人がEコースの入り口まで、全員を送って下さる。案内図とパンフレットを見ながら牛留池、それに豪快な善五郎の滝を見る。涼しすぎる位の森林をゆっくり歩き、木陰で休憩し、自然を満喫。歩くこと2時間弱。観光センター前に出て森林浴は終わり。

宿に戻り、温泉に入る人、飲み物、ビールを嗜む人、各人がのんびりバスの時間まで休ませて頂く。宿に別れを告げ、鈴蘭バス停から新島々へ直行、新島々に到着後は気温が上がり汗がにじんできた。コロナを忘れ、暑さを忘れる涼しい三日間でした。

夏らしいいい天気に

畳平バスターミナルで記念撮影

お花畑

夕食前の至福の時

今日も豪華な夕食

お土産センターからの大雪渓

牛留池近くの奇木

キバナノヤマオダマキ

のんびり散策

観光センターで一息

牛留池からの眺望

善五郎の滝で記念撮影

旧島々駅舎がありました

宿の皆さんと集合写真

10月山行・高水三山

秋の奥多摩定番コース

大野　和子

日程：2020年10月25日（日）
目的地：奥多摩　高水三山
コース：御嶽駅駅9:20⇒(1:50)⇒惣岳山(756m)11:15～20⇒(0:55)⇒岩茸石山(昼食)12:15～12:55⇒(0:40)⇒高水山13:25～13:30(1:15)⇒高源寺⇒(0:30)⇒軍畑駅15：15〉　歩程：9.9km
参加者：大野、小松、渡辺（3名）
係り：渡辺
記録：文/大野　GPS/渡辺　写真/大野・渡辺

新宿駅からのJRホリデー快速おくたま3号は、コロナウイルスによる外出自粛のなかにあって、長雨が続いた後の秋晴とあってか、予想もしなかった大勢の乗客で満員状態。出発地点の御嶽駅から次々と降り立った山行きらしき人々を見て、自分もその中の一人ではあるけれど　ウウーンと思いつつも、渡辺さんのことだから多分という予測は的中、向かった登山口は私達二人だけ。

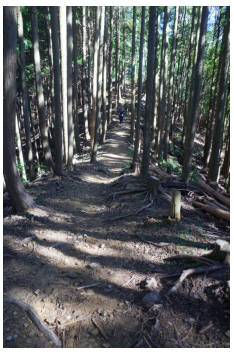
9時30分、「これから急登が30分ほど続きます」という声に、身を引き締めて、三つの鉄塔を超え尾根道が見えてきたところで一休み。道の両側は植林杉林で、進行方向右側は間伐された長さ3m程の細い丸太が斜面を覆いつくしている。それでも光を遮っているのだから、植林を始めた当時の木材不足に対する逼迫した様子が見て取れるように思えた。このコースの目安の一つ、杉の大木が見えてくる。傍らには小さな祠もある。「樹齢は200年、それとも300年位かな」先ほど間伐材の年輪を指で数えていた渡辺さんが言う。先日、スペインの友人が、大木の写真を送ってくれたが、日本に限らず、どこの国の人も人間の一生より長い間存在し続けている生命には畏敬の念を抱くものだと思う。

急登の後の山道は粘土質の赤茶色の土もあれば、少し青みかかった裂石に覆われているところもある。僅かに差し込む光に向いて真っ赤な実をつけたマムシ草に目が止まる。

歩き始めて約2時間、11時20分、第一目的地の惣岳山(756m)到着。といっても渡辺さんと小松さんのお二人が遅れて到着した私を待っての事ではあるけれど。薄暗い杉の植林地帯の中で歩を進める先に、突然、思いもよらぬ明るさが現れる。右側の足元の急斜面から始まって東南方向に、相当に

杉の巨木前で

杉の大木


両側杉植林の尾根道

三本大杉の尾根道

マムシ草

斜面を覆いつくす間伐材

スカイツリー

逆光に浮かび上がる渡辺さんと小松さん

惣岳山山頂

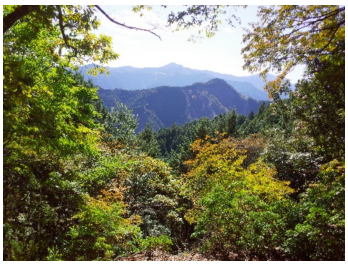
アキノキリンソウ

稜線を見せる山並み

岩茸石山山頂

大規模な伐採が行われていたためだった。遅れて歩く私の視界の先に、逆光を受けた二人の姿が見えた。「スカイツリーが見える、その隣に見えるのは杉林ならぬビル群」小松さんが指しながら言う声が聞こえる。しばらくの間、私達はその光景に見入った。伐採された山肌は地図の等高線を見ているようだ。そして少し薄緑の草に覆われたその地形は私には国宝「日月山水図」の山並みを思い出させもした。

朴の枯葉が山の斜面を覆っている


御岳山・御前山遠望

岩茸石山山頂付近の色づき

惣岳山を後にし、途中の岩山の登降りでは気を締め、岩茸石山を目にしたころには空腹を感じる余裕も出て、少し色づき始めた落葉樹の中に赤いナナカマドの紅葉や秋の麒麟草などを認めながら、50分程かけて、12時20分に高水三山の最高峰岩茸石山（793ｍ）に到着。途中、渡辺さんの「上はどうですか」の問いに「人で一杯です」の下山者の返答の通り、子供連れ、先生に引率された中学生、外国語で話す人たち等々、頂上は昼食を取る人達で一杯。でも、みんな、なんだか楽しそう。皆、久しぶりに木々に包まれた自然の中で、人間らしさを再確認しているかのようにも思える。東北東方向に筑波山、東南東に東京を見下ろしながら私達も昼食、渡辺さん手作りのシソの実漬けと酢醤油漬けした栃木の青唐辛子をいただく、実はわたしは次の日早速、青唐辛子の酢醤油漬けを実行。

なめこ販売、天然か否か

高水山常福院

高水山山頂

充分休息し、第三の目的地、高水山（755ｍ）に13時30分到着。高水山を少し下ったところにある真言宗高水山常福院の群青色を残す不動院の彫刻や扁額を見て、やれやれと思っていると「これからが長くて、きついんです」という渡辺さんの声で、左に折れて沢沿いに。夏の大雨で荒れ模様の沢道、段差が45㎝以上ほどもある木杭階段でへとへと、加えて平溝川との合流地点にある高源寺手前の急坂降りで私の体はマリオネットのよう。平溝川沿いの車道を下り、急坂を登り、ついに終着地の軍畑駅に到着。

予定していた河辺温泉梅の湯は今日の人込みを考えてパスし、拝島駅で降り、4時から営業している店を偶然見つけることが出来、入店。「ああー、うまい」のお二人の様子につられ、普段は飲まない私もジョッキ半分程飲む。確かに旨い。店を出ると短い商店街に挟まれた道路の先の夜空に、半月が輝いていた。

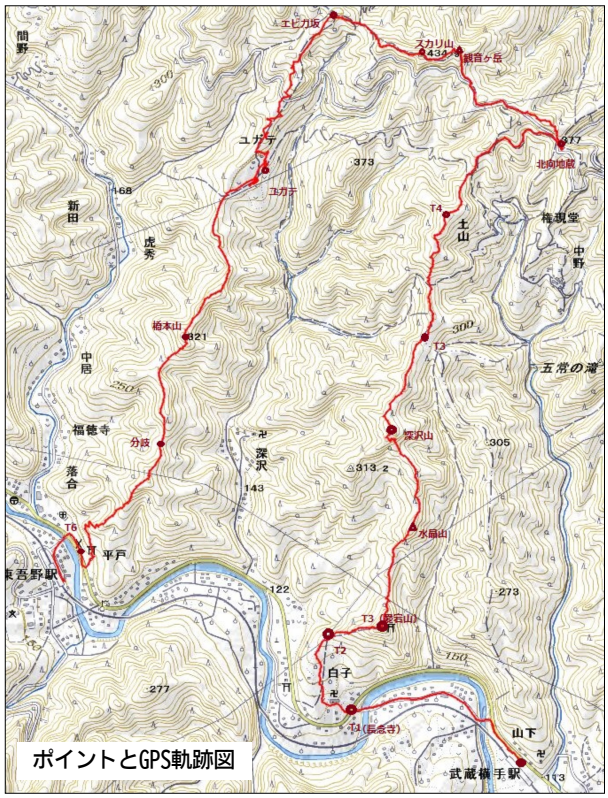
11月山行・読図山行・北向地蔵

先生不在の地図読み山行

中臺 文夫

どんなコースになるのだろうか？。先生のいない読図山行に緊張。

18年11月の天覚山読図山行以来の武蔵横手駅。9時30分到着の電車で参加4人が集合。駅前で他のグループがボードを掲げ山行の参加受付をしており、我々もそのグループのメンバーだと勘違いをしてこちらを気にしている様子なので、邪魔にならないよう朝の挨拶もそこそこに早速出発。駅から天覚山読図と同じコースを歩き始め200ｍでいよいよ今回のコースへと分岐する。分岐してすぐに大西さんから電話が入る。「ポイントT1からT2へのコースについて、長念寺の墓地を突っ切り細い道へ出るように」とアドバイスで実施されているが、



ポイントとGPS軌跡図

山行前夜、係の大西さんから、渡辺・辻橋両氏に電話するもつながらないのでと電話があった。「夕方から微熱が出て、コロナ禍の状況であるので山行参加は自重する」とのご連絡をいただく。微熱が単純なものであることを祈りつつ、一年ぶりなので地形図に磁北線を追加で書き入れコンパスの使い方を一夜漬けで予習した。北向地蔵読図山行は15年1月に今回とは逆の東吾野駅↓ユガテ↓北向地蔵↓武蔵横手駅

日程：2020年11月14日（土）
目的地：北向地蔵
コース：武蔵横手駅9：45⇒T1（長念寺）10：00⇒T2（栗林上の鉄塔）10：10⇒T3（愛宕山）10：25⇒水晶山（250m）10：50⇒深沢山（350m）11：20⇒T3（五常の滝そば）11：35⇒T4（土山：392m）12：00⇒T5（ユガテ分岐）12：10⇒北向地蔵（昼食12：20～13：05）⇒観音ヶ岳（427m）13：30⇒スカリ山（435m　13：40～50）⇒エビガ坂 14：10⇒ユガテ（14：30～15：00）⇒橋本山（321m）15：25⇒分岐（福徳寺への分岐）15：40⇒吾那神社16：10⇒T6（吾那神社下）16：15⇒東吾野駅 16：20
参加者：渡辺、辻橋、大野、中臺　（4名）
係り：中臺
記録：文／中臺　GPS／渡辺　写真／渡辺、辻橋、大野、中臺

スをいただく。あっという間にT1ポイントの長念寺へ到着。T2ポイントの鉄塔はすぐそこに見える。だが、大西さんのアドバイスに従い墓地を突っ切っても細い道は見当たらない。墓地の上にある栗林の中を行くとたくさんの落葉に隠れた細い道発見。もし栗の収穫時期だったらドロボウと間違えられそうで入れなかったかも。

T2鉄塔にすぐに到着。ここから愛宕山（地形図ではT3）へ向けて急登。約15分で愛宕山へ、そこから藪の中を下り地形図にはない水晶山を経由して深沢山へ向かうが、急な登り、滑りやすい土と落葉で悪戦苦闘。張られていたロープを頼りに30分かけやっと深沢山の頂上。ここからは植林されたスギ・ヒノキ林の中や、植林と雑木林やサカキの林の間を尾根道が続き、地図とコンパス片手に五常の滝付近のT3へ向け気持ちよく順調に歩が進む。T3を経由してT4／土山へ向かうが順調すぎて、あるいは大西先生の仕掛けた罠か、危うく分岐を見落としそうになる。渡辺さんが気付き地図で確認、コース修正。沢山峠からT4／土山へまたもや急登。それにしても楽な尾根道歩きの後の急登はつらい。12時にT4／土山へ到着。地図に載っている割にはちょっと寂しい標識。このあたりで、「シャリバテだ」、「おなかがすいたどこで昼食か？」と声が上がるが、何とかお腹をなだめながらT5／ユガテ分岐を経由して北向

愛宕山頂上

いきなり急な登り

T2の鉄塔はそこだが

長念寺の境内を失礼して

藪の中を行く

花の少ない季節のコウヤボウキ

水晶山頂上到着

きちんと地図読み

滑る急な登りに悪戦苦闘

深沢山を目指して地図読み

T4/土山到着（チョッと寂しい標識）

またもや急登

沢山峠　手作り感たっぷりの道標

やっと深沢山頂上到着

北向お地蔵さま

北向地蔵が見えた

目指すは北向地蔵か昼食か

観音ヶ岳の眺望/大岳山

観音ヶ岳　沢山の標識

昼食とは慈悲！楽しみを与え苦しみを除く

佛心とは「大慈悲」これなり

地蔵に到着。すでに何組かのグループが昼食中。我々もやっと昼食にありつく。

スカリ山眺望／栃木男体山他

スカリ山眺望／秩父武甲山

スカリ山到着

やっとお腹も落ち着き出発準備。スカリ山、エビガ坂を飛ばしてユガテへ直行する選択肢もあったが、全員一致で大西さん設定コースをたどることにした。地図とコンパスで方向を再確認後出発。ここからは舗装道路と並行するようなコースで、アップダウンはあるが順調。地図にはない観音ヶ岳からスカリ山、エビガ坂を通過。ユガテ到着の直前にユズ、柿、福ミカンの無人直売所があり、各自がいろいろ購入。商品を補充に来た農家の方に一つずつユズをいただく。重くなったザックを担いでユガテ到着。

ユガテ到着

ユズ・柿・福ミカン

エビガ坂道標

辻橋さんは「私にとってユガテは桃源郷のイメージだったがずいぶん変わってしまった」と嘆くことしきり。穏やかな天気の中、早速柿をかじったり、しばし休憩。ここからは道もハッキリしており、橋本山頂上、福徳寺への分岐を過ぎ、暗くなる前に下山しようと歩みを早める。眼下に民家が見えるようになるが、なかなか高度が下がらない。道は折り返しが続き、無事にT6／吾那（あがな）神社下へ到着。東吾野駅はすぐそこ。東吾野駅から飯能駅へ出て中華料理店で反省会後、解散した。

橋本山頂上

一番目立った紅葉

しばしの休憩

T6／吾那神社下

夕日を浴びながら歩を急ぐ

福徳寺分岐
（ここだけなぜか突然、
アルファベット表記）

お疲れさまでした

大西さんの山行案内には「新型コロナによる山行の自粛続き体力の低下を考えて手ごろな低山でじっくりと地形図を読む楽しさを味わってください。低山ですが尾根はアップダウンがありピークの確認が勉強になります」とあったが、その通りで体力の低下に加えかなりのアップダウンでバテ気味だった。今回は先生不在で、標識のある山を除き正解のない読図となったが、参加者はかえって緊張感を持ち地形図とコンパスを使って楽しい山行となった。また、この辺りにはスカリとかエビガ坂、ユガテとか不思議な名前があり、漢字を当てるとどんな字になるのか、地名や山名の由来を調べようと思った（そのうちに）。

＊福ミカン…福来みかん（ふくれみかん）
10月下旬～12月上旬
古来より茨城県桜川市真壁町にて栽培されてきた福来みかん（ふくれみかん）。大きめの金柑くらいの大きさで、直径3～4センチの手のひらに乗る小さなかわいいみかん。ユズのような黄色で爽やかでとっても良い香りがする。中も食べられるが、本来は皮を干して作る陳皮として七味唐辛子に使っていた。

月例集会

特に断りなければ集会の会場は104号室です。

◆2020年◆

4月集会、5月集会&総会

いずれも中止

6月集会（総会報告）

日時 6月25日㈭ 20:00～20:40
会場 集会室及びZoomによるリモート会議
出席者 渡辺、大西、山崎、保坂、星(愛知)
辻橋、中臺 計7名

4月、5月の定例集会を開催できぬまま、役員同士も何等連絡を取らず過ごしてしまいました。5月下旬になり会報30号の出来上がりと費用の件が担当の渡辺代表よりメーリングにて届きました。渡辺、大西、山崎、辻橋の役員が何回かメーリングのやり取り後、Zoomでのリモート会議を大西さんの手配で開催でき、話し合いの結果、ハガキでの議決権で行う事になり会員各位へお知らせいたしました。また、6月定例集会もルームでは開催できない場合、何等かの動きをすることも必要と考えてZoomでの会議を提案し併せてご案内させて頂きました。事前に1回程、練習時間を設けて大西さんより使い方の説明を含め会議予告をいたしましたが、余り参加してくださる方がいませんでした。その様なわけで、本日の会議は次の通りとなりましたのでよろしくお願いします（議事録担当 辻橋）。

議事 総会ハガキ集計は6月末日の締め切り後、担当の山崎さんから総会報告予定とし、6月集会としては6月23日現在の総会ハガキ集計を基に話し合った。最大の審議事項は、今季会報の費用について意見交換。臨時役員会で提案された「山行費積み立て（遭難対策基金）」の中から、¥四四、八〇〇を印刷代金の不足充当とすることにして会員各位にはご承諾いただく様お知らせする（渡辺代表よりメーリングにて報告済み）。なお、この山行積立金は積立開始当初予定した一〇万円は積み立てできているので、今後の徴収について「100円にする」、「徴収を止める」など意見が出ており、今後の継続審議として月次集会で話し合うこととする。今後の会報発刊についてもPDFの希望者も多かったことから、当件も継続審議事項とする。

4号議案追記

◇「山遊会だより30号」印刷の予算が不足してしまいました。会員も減少し本年6月現在で37名しかいない状況です。近年、山行の写真が増え、頁数も増加しており（27号・24ページ、28号・29号・32ページ、30号・36ページ）、印刷費が8万円近くかかってしまいました。そのため、会費の¥二、〇〇〇へのアップをご提案しました。しかしながら、ハガキのアンケート結果では、¥一、〇〇〇のまま据え置くという意見が多く、¥二、〇〇〇へのアップは止めて、会費は¥一、〇〇〇のまま致します。

◇印刷費の捻出には遭難対策基金¥一四四、八〇〇のうち¥四四、八〇〇を転用することが、臨時役員会議で提案されました。

◇ハガキによる総会4号議案の提示内容からは変更となりますが、アンケート結果等を踏まえた、「改定予算案」を提案させていただきます。

補足 ハガキのアンケート集計結果

◇本年4月1日現在会員数37名 6月30日現在返信数 28通（未回収8通）

1 印刷物無し 9名
2 印刷物あり・i会費は¥一、〇〇〇 8名
ii会費は¥二、〇〇〇 7名
3 白紙・その他 4名

◇ご意見

・会費の変更はいいのですが会報の頁数を減らす工夫が必要かと思われます。例えば1回の山行報告で数枚の写真で充分では。
・iでよいのですがPCのない方もいらっしゃる場合はii。写真が多すぎ、もう少し厳選してほしい。基本的にはペーパーレス化。
・二、〇〇〇円にしても会報作成については話し合いが必要。
・PDFと印刷物の両方は無理でしょうか。会費は¥二、〇〇〇で。
・1だと全員全てが見られるとは（環境の面）限らないので2とします。
・会費は¥二、〇〇〇まで。赤字予算のでないように紙質・頁数を減らせばよいです。頁数18頁以内が良いです。組直してください。
山遊会だよりPDFで良いです。
・写真の枚数を制限しコストダウンをはかる。最近記録文が短いので写真でカバーしていました。
・ホームページがあるので「山遊会だより」は不要。
・写真が多くて楽しいので印刷物でと思うが経費がかかるのでPDFで。
・A3に新聞のように作れないのかな。写真は少なく、集合・ランチ等写真は前半（6ケ月毎）後半にするとか。
・HP掲載（PDF等）いただけるといつもいつでもアクセスでき助かります。紙媒体は保存スペースも必要なため。

集会 〇山行計画

・7月例山行 草戸山（係 辻橋）
日程 7月11日㈯ 現在参加予定者
渡辺、大西、木村、中臺、加藤、辻橋

・8月例山行 垂鞍原（係 古関）
日程 8月8日㈯～10日㈪ 現在参加予定者 松島、中臺、染谷、江村、辻橋、古関 宿泊はコロナ対策として10名までとなっています。参加希望者は早めに申し込みください。

懇親会 なし

7月集会

日時 7月30日㈭ Zoom18:45～19:30
出席者 渡辺、大西、星（Zoom参加）、辻橋、中臺 計5名
記録 辻橋

〇3月以来開けなかったルームでの集会。104号室Aが予約出来て、久しぶりにメンバーのお顔が見られると思っていたのだが、残念ながら出席者は、渡辺、大西、中臺、辻橋の4名だけだった。地方の方々へもお声がけして、ズームによるリモートとの併用で交流出来たらの想いで大西さんが、その設定もしてくださったのですが、残念ながら、東海支部でも、東海支部の星さんお一人の参加でした。東海支部も、大きな山行は全て中止、近郊の日帰り山行のみポチポチとのこと、いずこも同じでした。やはりコロナ感染者数の増加ニュースなどで日々の生活行動パターンを緩和させるには今しばらくの時間が必要なのだろう。集会の初めに過日ご逝去された初代山遊会代表の遠山さん（96年同期会から、山遊会に移行する時にご尽力くださった）へ黙祷。渡辺代表より総会への会員各位の協力御礼の挨拶と、会報作成時に会計担当の山崎さんへの事前の制作費用の確認などの手順を踏まず、費用不足を起こしてしまった事へのおわびの言葉があった。

〇山行計画

(1) 8月例会山行 担当係が欠席。新規発特急の変更がメールで送られてきたが、最終の計画書が無く登山計画書の作成もあるので、山行係には事前の山行計画書の提出を徹底してもらいたい。
日程 8月8日㈯～10日㈪
目的地 垂鞍岳 担当 古関

(2) 9月例会山行 係より案内書、コース地図の提示あり。通常往復、タクシー利用になるが、レンタカー利用の方が安くなるので、係がレンタカー運転の予定。
日程 9月19日㈯
目的地 栃木石裂山(おざくさん)周回コース
担当 ながだい
集合 東武日光線新鹿沼駅 10時
装備 通常日帰装備(あればナグローブ・軍手)、昼食・行動食
締切 9月5日㈯（車等予約のため）メーリングもしくは担当携帯まで。

(3) 10月例会山行
日程 10月10日㈯
目的地 奥多摩の山 担当 渡辺

〇その他 辻橋より

・山遊会規約(山遊会だより27号参照)一部改訂箇所あり、次回集会の審議としたい。山行時に徴収の山行費¥二〇〇を¥一〇〇にする。（7月山行時より）
・昨年度「8月の集会は参加者が少なく来年は無しにしよう」と話し合っていたのと、本日の集り具合から8月定例集会は開催なし。
・山遊会15周年記念手拭在庫 緑7枚、紫37枚、紺44枚、合計 88枚(7月30日現在)会員の皆さんはもとより、知人・友人にもお声掛けいただき、拡販をお願いいたします。

懇親会 いつもの「西安」にて。参加3名

9月集会

日時 9月24日㈭ 18:45～19:30
出席者 大西、辻橋、中臺 計3名
記録 辻橋

議事 集会室予約担当の辻橋が、9月集会のお知らせを別件報告に追記して告知したため、「月例会開催のお知らせ」として行き届かなかったようで申し訳ございませんでした。出席者が大西、中臺、辻橋の3名だったため山行予告もなく、今後の集会（特にコロナ禍の今年）の意味など話し合うこともできず、解散いたしました。

〇山行報告

9月例会山行「石裂山」（担当 中臺）
9月19日㈯に予定していたが、天候不良で濡れた岩場での滑落等の危険があるため中止とした。

〇山行計画

(1) 10月例会山行「読図」
日程 10月10日㈯
目的地 奥多摩 高水三山 担当 渡辺

(2) 11月例会山行日程 11月14日㈯
目的地 奥武蔵・北向地蔵 担当 大西

懇親会　なし

10月集会

日時　10月22日（木）18:45～19:30
出席者　渡辺、大西、辻橋、中臺　計4名
記録　辻橋
議事　コロナ禍　自粛が続いているのでしょうか？今月も出席は、世話役3人（渡辺、大西、辻橋）とホームページ担当の中臺さんの4名でした。
○同好会連絡会議報告（辻橋）10月19日の同好会連絡会議は、代表渡辺さんの代理で辻橋が出席。現在18の同好会があり、各自の活動報告があった。同期会から同好会に移行したたは何処も、会員の高齢化で山行参加者の減退、固定化などがおきているので、会員増強の方法など模索している状態のようだった。その他、コロナ禍の状況が続く中での事務局の使用方法などの説明があった。
○本部からのお願い　日本山岳会創立120年の記念事業として、日本の山岳道を20ルートほどを選定、取りまとめて記念誌を作りたいとの計画で企画書の見本付きの説明冊子が配布された。興味のある方はお申し出下さい。会として、協力出来るか皆で話し合いたいと思います。
○会議予約　山遊の年間予約は104号P宰で定員4名（新型コロナ感染予防対策）。定例集会定員が増えた場合支障が出ることが予想されることから、今後も104号A案が空いたら予約更新していく。
○山行予定・計画
(1) 10月例会山行
日程　10月25日（日）日程変更して実施
目的地　奥多摩　高水三山　担当　渡辺
(2) 11月例会山行「読図」
日程　11月14日（土）
目的地　奥武蔵・北向地蔵　担当　大西
(3) 12月例会山行　「清掃登山」
日程　12月12日（土）
目的地　高尾山　担当　中臺
(4) 12月以降の山行について　1月以降の山行予定が出ない状況の中、皆様が個人山行をご予定でしたら、ぜひ「この指止まれ」山行としてメーリングにて会員の方をお誘いいただけないでしょうか？どうぞ宜しくお願い致します。（年間山行計画担当　辻橋）
○その他
(1) 定例集会開催について　新型コロナ禍の影響で出席者が集まらないのであれば、しばらく集会を休会してはどうか？との意見が出たが、それをやってしまっては会としてなくなる。出来は会員各自の意思として、定例集会はキチンと続けるべきと結論。
(2) 会報発刊報告　会報「山遊だより」1冊販売（一、000円）（渡辺）

4人での審議事項終了後、暫しコロナ談義、マスクの種類やアレコレなど雑談をした。
懇親会　いつもの「西安」にて。参加3名

11月集会

日時　11月26日（木）18:45～19:45
出席者　渡辺、大西、辻橋、中臺　計4名
記録　辻橋
議事　今月の集会も出席は4名でした。
○山行報告　11月14日（土）読図山行　北向地蔵

係の大西さんが、微笑ましいとの事で、欠席となり参加者4名で出発。渡辺さんのリードで何とか大西さんが作成のポイント記入の地図をたどり、全コースクリア。
○山行予定・計画
(1) 12月例会山行「清掃登山」
日程　12月12日（土）
目的地　高尾山　担当　中臺

このところの週末の高尾山の混雑などがニュースになっている折、新型コロナウィルス感染が非常に拡大している状況で高尾山へ行くことと、参加申し込みの少ないことを踏まえ審議し、12月の山行および下山後の忘年会は中止とした。
(2) 1月例会山行
日程　1月16日（土）
目的地　筑波山　担当　染谷

担当、染谷さんから「筑波山きっぷ」がお得とパンフレットの紹介がありました（辻橋）
つくばエクスプレス+シャトルバス+ケーブルカー+ロープウェイ（往復）つくばエクスプレス各駅（秋葉原より西、三八〇）、自動販売機などで購入
(3) 2月例会山行
日程　2月　日にち未定
目的地　飯縄山　担当　片山
(4) 3月例会山行
日程　3月13日（土）～14日（日）
目的地　北八ケ岳　担当　辻橋
○その他
(1) 山遊の活性化について
山遊の今後について話し合い、いろいろな意見が出た。
・何か会として「テーマ」を持つ。研究課題（例　鳥、植物、地形など）、干支の名前の山へ行く、峠を訪ねる・・・
・他の同好会と交流を持ち合同山行を試みる。
・会員各位にアンケートをして、会に求めるものをさぐる。アンケート内容の案を12月17日の集会に持ち寄る。
・「このまま続けて行けば、それで良い」との意見もあった。コロナ禍の続く中すぐには対処出来ないかもしれないが、会の活性化の為に今後も各自の意見交換を継続して行きたい。
(2) その他　15周年記念手拭い一枚（一、000円）売り上げ。
懇親会　いつもの「西安」にて。参加3名

12月集会

日時　12月17日（木）18:45～19:30
会場　日本山岳会　集会室
出席者　渡辺、辻橋、中臺　計3名
記録　辻橋
議事　今月の定例の第4木曜日ではなく臨時の集会日だった。その為、確認漏れがあったのか、集まったのは3人（渡辺、中臺、辻橋）。今年最後の集会は104号室では無く集会室でしっかりしたアクリル板で仕切られたソーシャルデスタンスの行き届いた中で開催した。3人では、新たな審議事項もなく、今後の山行予告の確認をしただけで終了とした。
○山行予定・計画
1月例会山行
日程　1月16日（土）
目的地　筑波山　担当　染谷
2月例会山行
日程　2月13日（土）～14日（日）
目的地　飯縄山スノーハイク　担当　片山
3月例会山行
日程　3月13日（土）～14日（日）
目的地　北八ケ岳（詳細は1月発表）担当　辻橋
○新年度山行計画案
4月山行「鎌倉　権現が谷」（担当　山崎）
5月山行「天城山」（担当　渡辺）
6月山行「場所未定」（担当　江村）
9月山行「石裂山」（担当　中臺）
○その他
(1) 行きたい山・行事等について皆様からの希望を募集いたします。
(2) 山岳会120周年記念事業の山岳道研究に参加は、山遊会としては、調査などの作業は困難と判断し、参加は見合わせることにしました。
懇親会　いつもの「西安」にて。参加4名。懇親会には他の用件で事務所に来ていた永田さんが何年かぶりで山遊会員として？参加くださり楽しく会食しました。

◆2021年◆

1月集会

日時　1月28日（木）20:00～21:15
会場　リモート開催
出席者　渡辺、大西、辻橋、石兄、染谷、保坂、山崎、柳田、中臺　計9名
記録　染谷
○山行報告
1月例会山行「筑波山」（担当　染谷）→緊急事態宣言発令により中止
緊急事態宣言が解除されたとしても、山から遠ざかっており雪山一泊予定は参加者の体調も心配なので日帰りの足慣らし山行へ変更。
日程　3月27日（土）
目的地　弘法山　※詳細は追って連絡
新年度山行計画案
11月　読図山行（担当　大西）
12月　清掃登山「日時未定」（担当　中臺）
22年5月「筑波山」（担当　染谷）
上記の予定は係りの都合やコロナ禍の状況により変更あり。未定の月、当番など会員各位の希望がありましたら連絡ください（年間山行係　辻橋）。
○その他
・会報の発行について　コロナ禍の影響で山行回数が激減したなど形態を検討する（渡辺）
・郵便局からの毎月の会費の入金報告書（書面）が一回、110円かかるので、他の方法を考えてみる必要がある（山崎）

2月集会

日時　2月25日（木）20:00～20:46
会場　リモート開催
出席者　渡辺、大西、辻橋、染谷、保坂、山崎、木村、中臺　計8名
記録　染谷
○山行予定・計画
(1) 3月例会山行「弘法山」（担当　辻橋）
日程　3月27日（土）
集合　小田急線秦野駅改札口　10時
持ち物　通常日帰り装備・お弁当（各自）・入谷セット（希望者のみ）

コース　秦野駅→公園入り口→浅間山→権現山→弘法山→吾妻山→鶴巻温泉（下山後の反省会はなし）
所要時間　3時間半
申込先　担当辻橋の携帯又はメーリングにて。
締め切り　3月20日
☆コロナ状況で非常事態宣言が解除されなければ中止になる事もあり。
⑵4月例会山行
日程　4月17日（土）
目的地　鎌倉周辺ハイキング　担当　山崎
※下見をしてから詳細は追って連絡
〇その他
・山遊会総会　4月22日（木）開催
コロナ禍の影響が急激に好転するとは考えられず、昨年同様「葉書」で対応する
・山遊会だより　昨年4月からは山行も少なく合併号にする案もでたが、見積をとり発行形態を検討する
・来期の役員人事　この時期に代表交代とかは難しく渡辺代表に続投をお願いした。

3月集会

日時　3月25日（木）　20:00～20:55
会場　リモート開催
出席者　渡辺、大西、辻橋、保坂、山崎、染谷、中臺　計7名
記録　染谷
〇山行計画・予定
⑴3月例会山行「弘法山」（担当　辻橋）
日程　3月27日（土）
集合　小田急線秦野駅改札口　10時
参加者　大西、喜多、辻橋、大野、中臺
◎コロナ禍の非常事態宣言は解除されたが、弘法山周辺は桜の名所であり、混雑が予想されるので個人山行として実施。
⑵4月例会山行
日程　4月17日（土）
目的地　鎌倉周辺ハイキング　担当　山崎
参加者　渡辺、辻橋、中臺、山崎
◎今のところ4名の参加者だが実施する。
⑶5月例会山行「伊豆の山」（担当　渡辺）
日程　5月21日（金）前日発～22日（土）
目的地　伊豆の山
〇今後の山行予定
6月　江村（担当）
7月　未定
8月　未定
9月　石裂山　中臺（担当）
10月　未定
11月　読図山行　大西（担当）
12月　高尾山清掃山行　中臺（担当）
〇その他
・山遊会総会　4月22日（木）開催、昨年同様「葉書」で対応する
・会計が逼迫している→現金二八、000円＋遭難対策基金一00、000円＝一二八、000円（山崎）
・「山遊会だより」は8P程度、一0、000円以下で作成可能（渡辺）
・限られた会員しか、山行や集会に参加していない現状がある→会員は山遊会の他に複数の山の組織に所属していることもあるかも
・今後の山遊会をどのように考えているか総会案内にアンケートを同封し、返信内容を一年間精査して方向性を決めたい（アンケートの原案は渡辺代表が作成）

山遊会令和1年度会計報告
平成31年4月1日～令和2年3月31日
（単位：円）

収入	金額	支出	金額
前年度繰越金	54,914	山行通信費補助金	6,000
（現金）	48,890	議事録送付用切手代	4,220
（郵便振替）	6,024	郵送料(総会資料等)	6,057
会費	34,000	封筒長3　100枚	444
（平成30年度会費3名）	3,000	印刷用紙代	460
（令和1年度会費28名）	28,000	山遊会だより印刷代	55,061
（令和2年度会費3名）	3,000	プリンターインク山遊会試し刷り	2,000
手ぬぐい売り上げ代金	18,000	プリンターインク代	977
		領収書	246
		コピー代	135
		小計	75,600
		次年度繰越金	31,314
		（現金）	8,290
		（郵便振替）	23,024
合計	106,914	合計	106,914

＊会費未納者平成30年度3名・令和1年度9名

遭難対策基金残高	148,800
平成30年度繰越金	131,000
令和1年度山行積み立て	17,800

令和2年4月1日
上記の通りご報告いたします
会計　山崎浩子
監査の結果上記の通り相違ありません
監査　辻橋明子

表1　「山遊会令和1年度会計および監査報告書」

山遊会令和2年度収支予算表
令和2年4月1日～令和3年3月31日
（単位：円）

収入	金額	支出	金額
前年度繰越金	31,314	山行通信費補助金	6,000
（現金）	8,290	議事録送付用切手代	5,040
（郵便振替）	23,024	郵送料(総会資料等)	6,300
会費	49,000	封筒長3　100枚	444
（令和2年度会費37名）	37,000	印刷用紙代	460
（令和1年度会費9名）	9,000	山遊会だより印刷代	75,974
（平成30年度会費3名）	3,000	プリンターインク山遊会試し刷り	3,000
		プリンターインク代	1,070
遭難対策基金からの転用	48,800	総会用はがき代	2,205
		封筒角2　100枚	1,500
		小計	101,993
		次年度繰越金	27,121
合計	129,114	合計	129,114

＊「遭難対策基金からの転用」は先日、会員各位にお送りしたご承諾願いの通りです。

遭難対策基金残高	109,900	
令和1年度繰越金	100,000	
令和2年度山行積み立て分	9,900	（￥200x8名－￥500）x9回（R2.7～R3.3）

表2　「山遊会令和2年度収支予算表」

2020年総会（コロナ禍により集会は行わず文書による決議）

委任状：議長11名、辻橋1名、
書面決議：1号議案～3号議案・・・賛成16名、反対0名、4号議案・・・賛成14名、反対2名
以上より、1号～4号議案については賛成多数により承認された（ただし、4号議案については事前配布資料に変更あり）。

・1号議案　2019年度(平成31年・令和元年度)活動報告・・・承認
◇定例山行(日にち・目的山名・担当・参加者数)

2019年 4月6日(土)	秩父簑山（美の山公園）花見	辻橋	11名
5月11日(土)～12日(日)	大菩薩峠～小菅縦走	松島	8名
6月15日(土)～12日(日)	天城山	渡辺	7名
7月13日(土)～14日(日)	美ヶ原	保坂	6名
8月24日(土)	御岳山	武藤	10名
9月13日(金)～14日(土)	大室山	渡辺	7名
10月26日(土)	赤ぼっこ	小池	11名(含ゲスト1名)
11月23日(土)	飯能アルプス・大高山(読図)	大西	4名(含ゲスト1名)
12月14日(土)	高尾山清掃登山	中臺	10名
2020年 1月18日(土)	三浦富士	染谷	10名(含ゲスト1名)
2月29日(日)	高尾山	松島	5名
3月28日(土)～29日(日)	奥鬼怒―日光沢温泉	渡辺	4名

2019年4月～2020年3月、実施12回、中止0回
参加者数：93名（年間平均7.8名）前年度より+1名

◇その他
・2019年4月25日　総会にて「山遊会だより29号」配布
・会員動向　入会者：なし
退会者：2019年9月＝白川さん、2020年3月＝武藤さん、2020年4月＝小池さん
ご逝去：2019年12月＝福原さん、2020年2月＝小島さん

・2号議案　◇2019年度（平成31年・令和元年度）・・・(承認)
◇会計報告は表1「山遊会令和1年度会計および監査報告書」のとおり
・3号議案　2020年度（令和2年度）活動計画案および世話役人事・・・(承認)
◇定例山行（日にち・目的山名・担当）

2020年【4月】	4/4(土)	湯河原―城山	辻橋・・中止
【5月】	5/23(土)～24日(日)	天城山	渡辺・・中止
【6月】	6/20(土)	大の字表妙義自然探勝路	保坂・・中止
【7月】	7/11(土)	草戸山	辻橋
【8月】	8/8(土)～10日(月)	乗鞍高原	古閑
【9月】	日にち未定	石裂山	中臺
【10月】	未定		
【11月】	日にち未定	読図山行（目的地未定	大西
【12月】	12/12(土)	清掃忘年山行(高尾山予定)	中臺
2021年【1月】	未定		
【2月】	未定		
【3月】	未定		

◇その他
新型コロナウィルスの影響で4月～6月の山行ならびに集会はすべて中止となっています。7月以降の予定も状況次第で変更・中止の可能性もあります。ご了承ください。

◇世話役人事

代表	渡辺真一
副代表	大西　攻、辻橋明子
会計・庶務	山崎浩子、染谷美佐子
監査	辻橋明子
名簿管理担当者	保坂恵子
イベント係	辻橋明子、松島岳生
記録係	染谷美佐子、辻橋明子
山行係	辻橋明子、江村美津子
ホームページ担当	中臺文夫、渡辺真一(下線はメイン担当者)
会報担当(山遊会だより)	渡辺真一、染谷美佐子(下線はメイン担当者)

・4号議案 2020年度（令和2年度）活動予算（案）・・・(承認)
◇2020年度（令和2年度）活動予算は表2「山遊会令和2年度収支予算表」のとおり。